（大正十年四月二十二日 第三種郵便物認可）　昭和十五年九月十二日　（木曜日）　第五千九百二十一號 〔一〕

夕刊

九月十一日發行

定價 一部 金十錢 郵稅 金六錢
賣捌 日刊 日本新聞 日曜祭日休刊
東京振替 一〇八〇五六五番

秋窓隨記（中）

――短歌の轉換に關して――

石塚敏夫

洋服の肩のほこりを拂ふく或る美的情感の新しさをのも私かに持てるすがひのひとこの二首は佐藤氏の面目を躍如たらしめない感があるが、とまれアララギ内にもその從來の非文學的寫生歌を打破しようとする傾向が動きだしてゐることは明かだ。だが、これらアララギ會員の改新的氣風は近年四園の動に動かされて、じつとしてをれなくなつてのことだ。僕らはこの四園の動に注目してみる義務があるその一つは十數年以前からこの文學性を喪くしと寫生歌を葬るへく血闘して來てゐる一團の人々があり、それらの人々の革新力が變と共に滔々と歌壇に瀰漫して來たことであり、また一つは、支那事變と歐洲動亂による文化人の思想の轉換である。

前者は昭和初頭の革新期に比して思想を内容に裏づけ表現技術に苦心しつゝ作品そのものを先頭にして革新を眞執にやつてゐる。勿論この一團の人々の作品は革新未完成の相であるが、その新しさは奇拔や風變りといはれる種類のものでなく、洋服の肩のほこりを拂ふく或る美的情感の新しさを有してゐるものである。これらの人々こそ次の短歌の指導權を有するものであらう。後者は東洋に於ける日本と歐洲に於けるドイツ、イタリーとが示すナショナリヅムによつて曾つての自由主義自然主義の滅亡しつゝあるか、それを溫床として育成した現歌壇に大動搖を來さずには置かず、何かを「論議」叫びわめかしめてゐる。それは悲鳴をおぼしめしめるものである。日本のナショナリヅムはその基礎を古い歴史に見出して出發してゐるが、それがため古典は一層重視されまたされなければならない。古典そのまゝ再現は歴史の後退であることは言はずもがな、古典の上に立脚して新しい觀念をなさねばならぬのではあるまいか、なさねばならぬその觀念は勿論現代精神の夢かな現代生活である。

以上のやうな四園の動は誰しも感じてゐるだらうが感じてゐるなら、それをもつと作品に顯現してほしいものである。

歌なら花鳥風月といふこの觀念は現代歌人に嫌かられてゐる。それでゐて花鳥風月の歌、つまり寫實歌が扇子一對、これを吉良家へ贈る事となつた、表向きの事を、表向きに實行したまでゞある、

一方、吉良上野介は下城して、進物を見てゐたが

「アヽコレ〳〵天奏役は誰だ。淺野内匠頭に、伊達左京之亮だと――伊達は、まだ若年だか、本家に十萬石といふものが付いてゐる。二百兩は送つて來るであらう、内匠頭は工面がよくて負けぬ氣象、武張りの四郎と云はれた家だし本家にも參勤交代なに弁氣にと・或は僕がせわしいのかも知れない。だがそれらの人はその目標を西行以上に置いてゐるのであらうか。

朝涼（三）

秋山　八重子

○木々うもて白雨あがくすぎゆけば風新しくわが庭に入る

○秋に向ふ宵の空はすみゆきてまる月にしるき天の川かも

○月夜雲花のごとしと思ひゐぬ一人ゐすゐの宵ふかくして

○コスモスの花つばらかにゆれて居り雲のたわまの月の光りに

○コスモスのゆれいとどしくときの間を雨すぎにけり月夜ながらに

連續講談　異說赤穗浪士

別題『異說赤穗義士』『赤穗誠忠錄』

桃川若燕　城木喬

〔5〕

畫城

怒る上野介

『左樣な無禮な事をしては却つて吉良樣のお腹立ちを招く基でござる　且つ三百兩などゝ云ふ大金は思ひも寄らぬ事、先づ無事にお務を勤めになつて後に、お禮の印として金千疋も贈りになつたら宜しからうかと存じまする』

藤井、安井の兩家老は自分達が、世事に疎しから、家老の權威でこれを阻んだなる程彼等の言ふ事は正しい、故なくして金子を贈は無禮に相違ない。

然しそこは所謂臨機應變人を見て法を說けと　ふ通かあり、相手が慾に深い人間であれば、慾を滿すやうにし、清貧に甘んずる廉潔の士であれば　正しく曾敬すればよい、これは理窟ではない、世の中の實情である。

兩家老が遮つては、彌兵衛老人が、いくら助言しても無駄だ。茲に於て、天文心だ、伊達から來たのは惜しからぬ、大方、鰹節の中に入れてあるのだらう、鰹いか輕いか

『大分重いやうでございます』

『金子は、金目か銀目か』

『それは判りませぬ』

『判らぬでは氣が揉めるな早く開けて見ろ』

吉良上野介、待ち遠しさうである。

『この天文糖は、伸々上等で――天文糖など、どうでもいい　早く底を調べろ』

『ハッ』

底を調べると小判がザラ〳〵出てきた。『百兩でございます』

『ウム　ヨシ〳〵、もう一つのを開けて見ろ』

『上野介、滿足げに北叟笑む』

『エー、こちらにも百兩のでゐる、』

『よい〳〵、これへ取り置け、天文糖は其方は遣はす――今度は、淺野の分をこれへ持て』

『ハッ』

『どうだ、天文糖は重いか』

『思ひたより輕いやうで……』

『ナニ輕い、妙だの、開けて見ろ――』

『ハッ』

蓋をとつたが、金子は見當らない。

『金子は無いやうで……』

『そんな筈はない、中をよく廻して見ろ』

『この通りでございます』

『ハテナ　忘れたかな、斯ういふものを忘れるとは怪しからぬ、大方、鰹節の中に入れてあるのだらう、鰹節の方を開けて見ろ』

『ハッ、これは上等の鰹節で、伊達樣よりも品が宜しうございます土佐の小節で……』

『節などばどうでもよい、金子はどうだ入つてゐたか』

……ナニ、無いと、そいつは不思議だな、では扇箱の中へ目錄にして入れてあるかな、早く改めてみろ』

『ハッ、扇子一對だけでございます』

『いよ〳〵無いか』

『ハッ〳〵ございません』

『たしかに無いか』

『たしかにございません』

『ウーム』

と上野介思はず呻つたものである、

といふうちにも、上野介の心中には怒氣が炎のやうに燃ゆあがつて來た。

『今に見よ、内匠頭！』

慾の恨みは怖ろしい。

消息

肅啓、秋氣爽涼の候となりました。貴堂愈々御清榮のお趣、大慶に存じ奉ります。扨て、餘しき皇國の紀元二千六百年祝典の秋に當り、不肖いさかか奉祝の意を表して島田忠夫秋季奉祝個人展十一月一日、二日、三日四日（銀座鳩居堂）を開催致す事になりました。何卒、春季個人展同樣御期待御支援、まはり度く、伏して願上げます。敬白

昭和十五年九月十日、

東京市淀橋區西大久保一ノ五一七・双魚洞　島田　忠夫

酒トマヴイ
たでんの
榮ちゃん
平市田町花ノ町
電話三三番

「貯蓄は無盡で」
大三行圓
一歩一歩が望の山
社交が淋しくならぬうち
無盡かけましょう今のうち
盡城無盡

田毎の
たしなこと
おぞうに
中田町電632

白土醫院
平市鎌田
電話二七九

國は二ッポン・魚は凍魚
日本水産特約
卸小賣
平製氷社會
電話三六三
タイ　甘鯛
ヒマナ　鰹
白　立目柱
魚　帆立貝燒
カツノコ　ウニ貝燒
ヒノマル凍魚
東京代理店
四丁目
魚綱
配達八一尾一箱ヨリ迅速ニ致リマス。

防火防空銃後のつとめ
資源愛護は火の用心
太陽無機コロイド塗料定價表

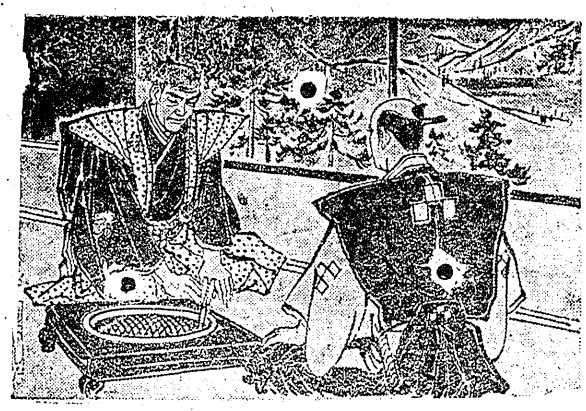
塗料番號	色別	容量	價格
一號	白	一斗罐入	三〇〇〇
二號	淺鼠色	同	三〇〇〇
三號	黑色	同	三〇〇〇
四號	銀色	同	三五〇〇
五號	國防色（陸軍色）	同	四五〇〇
六號	濃綠色（海軍色）	同	四五〇〇
七號	黃色	同	五〇〇〇
八號	クリーム色	同	四〇〇〇
九號	鼠綠色	同	四〇〇〇
○號	薄藍色	同	四〇〇〇
地階浴槽		二升罐入	五〇〇〇
白上浴		同	三〇〇〇

（各一罐の塗程面積二十坪ヨリ三十坪）
あなたの御健樂物の御保護のために、更に進んで國防的御見地から、是非効力絶大なる太陽無機コロイド防火防空塗料の御使用を御奬めいたします
專賣特許　太陽無機コロイド販賣店
山田文一商店
平市仲町通り
電話二六二番

カタログ進呈

肺・肋膜・心臟・胃腸の弱い方に
血となり肉ともなる……
スッポン
本場　生スッポンの
生血・生膽を御
勤め致します
平市六丁目通り
生スッポン特約養鼈場　さかいや商店
養鼈場　平市正月町一番地
スッポン黑燒、むし燒粉末もあります

醫學士　吉田　久雄
吉田眼科醫院
平市紺屋町　電話六八番



腸内・殘敵を掃蕩せよ！
能食　能便　能眠　能働
ミクロゼ
東京・五反田
足袋製造株式會社
試驗五日分六十錢を切手十錢で發送す。
便通のない日があつてはならぬ！
我々が口から食べた食物も、一日、腸内・殘渣として停滯すると、忽ち恐るべき殘毒として樣々な害毒をひき起します。曰く、頭痛、無氣力、ノイローゼ、目眩、動悸、ヒステリー、高血壓、不眠、疲れ易い、すべて腸内殘敵の仕業であります。何分にも、我々の身長の四倍弱の長さを持つた腸内のことであります。その中に毒素が充滿し、血液中に浸入して行く有樣を想像して見れば、排泄の大切さ、便秘の怖しさを滿足しない人はないでありませう。食物が、人間の消化器官を通過して、排泄される迄には、大體三十時間乃至二時間を要するのであります。故に、健康人は日に一回、規則正しい便通がなければならない筈であります。
便通がないからと言つて
直ぐに下劑を服む人がありますが、大間違ひであります。下劑は、腸の活動力を弱め、恐るべき習慣性を作ります。
酵母劑の上を行く我がミクローゼは、單なる便秘專門藥ではありませんが、強力な各種消化酵素とヴイタミンBの力によつて、腸の勞力を省き、蠕動力を強め、消化吸收を助け、快い便通を齎す一大特徴を有して居ります。
ミクローゼは、前京都帝大醫學部助教授醫學士島豐次郎先生が十八年に亘る御研究の結果、酵母にまさる唯一のものと斷定された日本固有のビルツ（有効菌）に據る胃腸强生劑であります。
ミクローゼ
（一ヶ月分三〇〇錢　一圓五〇錢）
胃腸强生
MIKROSE ミクローゼ

各家庭の主婦出動
汗塗れで土つ掘り
お城山の節米强調風景

各家庭總力を擧げての節米時代に處し、壓報各小學校の蕎麥栽培以外、市內第二十四區(城山)では場所柄比當廣汎な區域に蕎麥蒔きを較的空地に恵まれて居る處から逸早く各種補助食糧の耕作を思ひ立ち、小野寛美區長が陣頭に起つて附近荒地の開墾に着手し、既に青手劇の手によつて馬鈴薯若干畝歩を植えつけたを手初めに、各戸の主婦が一日二時間位宛數日間出動之亦相秋晴れの日をインテリ層も大分交つたモンペ姿の耕作として今後の發展とか飛躍は絶對に望み得ない狀況

にあるので縣の方針に基く市町村の合併問題は縣下各地に於て活潑な動きを見るものと觀測され小ぢんまり町村の經營をやつて行くといふやうな姑息な町村は時代から取り殘される事となるわけである

磐崎青年視察　磐崎村青年團女子部生五十余名は十四日茨城縣內原訓練所其他の視察旅行を行ふ

健康の秋に躍る
廿日第一第二兩校運動會

今年もまだ若鮎の樣な潑剌たる第二の國民が颯爽たる運動會季節となつた。市內第一、二兩小學校幼き血を躍らせてゐる折柄、各自一段と張り切つてゐるし同時に恒例の運動會を備云ふ迄も無く、子の跳躍をすることになり、競技に遊戯樂しむ參觀も從來以上の多に當日父兄母姉の目を細く數で健康の秋日を大盤況理させる各種演技に晩き兩校に終始するものと豫想されとも夫々練習に入つたがいる

産業戰士の跳躍旺ん
入山最近の運動行事

磐城炭礦健康保險組合が來体の團體的基礎を確立强化るべき第の佳節前後に於てせしむる爲め縣當局は極力一大運動會の開催を計劃中市町村の合併を慫慂し、組の旨既報の如くであるが此合町村の解消、小村の解消程產業戰線勇士の体育錬成を目ざしてゐる卽ち小町村は近來地方各炭礦等を通じ時は時代の流れによつて必然時局柄一層の飛躍を見せて的にその經營の至難が必至ゐる傾向あり、入山、古河大日本、日曹その他何れ劣らず体育陣の整備に力めてゐるが差當り入山では來る十五日の日曜をトー湯本町營球場に於て開催する同町內軟式野球大會に出場するをはじめ同日台の山コートに自社の從業員慰安庭球大會を開き尙は二十五日には磐中球場に催さる磐陽大會に必勝を意氣込んでゐるなど關係選手の昨今は頗る多忙である

町村併合機運濃厚
今後の飛躍企圖

新體制に卽應し市町村自治

榮養普通が一番
心强い乳幼兒の体質

石城醫師會では乳幼兒保護指導法に基き過般行つた昨年四月以降出生の市內乳幼兒五百二十一名の健診の結果を纏めた、これによると既報の如く疾病などもごく少數で『先づ概して良好』の折紙に母親達の育兒上の心細振りがうかゞはれるが体質はやはり男がまさつてゐる

△榮養

	男	女
良	七二	四七
普通	一七一	一四六
不良	八二	一〇二

△体重

標準以上	八〇	七四
九割以上	九二	八四
九割以下	一五三	一三七

中の作
漁港改修陳情
三縣議出縣

江名町中ノ作漁港改修は地元の重要な問題として對策される、小さい町村があつて從來支藤なしに自治體としての面目を維持して來たとしても今後の發展とか飛躍は絶對に望み得ない狀況

磐崎青年團体育大會　昨十日第一日の射擊に引續き軍刀術・銃劍術は今十一日午前八時から平商業で擧行、地元軍の活躍が目ざま

西部青年團優勝者
豫選に出場者決定

市西部青年團体育大會は昨十日午前九時より第二小學校庭に於て開催入賞者中より左記選手を詮衡の上來る廿九日平商校庭に於て開催さるゝ縣下大會の市豫選會(期日未定)に出場競を競ふ事となつた

劍道　柏木侃一(三段)
(材木町)長瀨泰輔(二段)
(同)

けふ軍刀銃劍術
郷軍武術第二日

戰時下郷軍の意氣をこゝに

自稱「稻荷樣」に說諭
渡邊生れの酒井爺

渡邊村生れの祈禱師自稱『稻荷樣』酒井錄次郎(七二)は今年初めから埼玉縣川口市幸町長谷川武雄さん、同市朝日町職工本山清作さん方に歸在中六月中旬同市元郷町一ノ八八〇馬場マツさんと朝日町芝沼ツネさんから出征中の夫の安否をたづねられ、また元郷町飯島ヨ

榮養普通が一番
心强い乳幼兒の体質

石城醫師會では乳幼兒保護指導法に基き過般行つた昨年四月以降出生の市內乳幼兒五百二十一名の健診の結果を纏めた、これによると既報の如く疾病などもごく少數で『先づ概して良好』の折紙に母親達の育兒上の心細振りがうかゞはれるが体質はやはり男がまさつてゐる

△榮養

	男	女
良	七二	四七
普通	一七一	一四六
不良	八二	一〇二

△体重

標準以上	八〇	七四
九割以上	九二	八四
九割以下	一五三	一三七

中の作
漁港改修陳情
三縣議出縣

江名町中ノ作漁港改修は地元の重要な問題として對策

産業戰士の跳躍旺ん
入山最近の運動行事

磐城炭礦健康保險組合が來体の團體的基礎を確立强化るべき第の佳節前後に於てせしむる爲め縣當局は極力一大運動會の開催を計劃中市町村の合併を慫慂し、組の旨既報の如くであるが此合町村の解消、小村の解消程產業戰線勇士の体育錬成を目ざしてゐる卽ち小町村は近來地方各炭礦等を通じ時は時代の流れによつて必然時局柄一層の飛躍を見せて的にその經營の至難が必至ゐる傾向あり、入山、古河大日本、日曹その他何れ劣らず体育陣の整備に力めてゐるが差當り入山では來る十五日の日曜をトー湯本町營球場に於て開催する同町內軟式野球大會に出場するをはじめ同日台の山コートに自社の從業員慰安庭球大會を開き尙は二十五日には磐中球場に催さる磐陽大會に必勝を意氣込んでゐるなど關係選手の昨今は頗る多忙である

町村併合機運濃厚
今後の飛躍企圖

新體制に卽應し市町村自治

漸く涼味を感じて眠られる樣になつた
市內平窪出身　新妻一美君(通信)

拜啓炎暑の文、郷土のニュースは殊に嬉しく懷しく感じ夜毎大切に拜讀致し居ります。厚く御禮申上げます。降つて小生もお陰樣を以て攻略戰後の警備に就いて皆樣の御慰問文に接しだわけです。吳々も御安心下さい。

小生も出動以來今日迄何度は銃後奉公會の皆樣より激勵

陣中を聽く
(839)

り叮寧なる慰問品並に慰問文、可愛いい子供達等の激勵ら傷だも受けず奮戰致す候と相成りました。其後は長々御無沙汰致し誠に申譯ありません。

自稱「稻荷樣」に說諭
渡邊生れの酒井爺

渡邊村生れの祈禱師自稱『稻荷樣』酒井錄次郎(七二)は今年初めから埼玉縣川口市幸町長谷川武雄さん、同市朝日町職工本山清作さん方に歸在中六月中旬同市元郷町一ノ八八〇馬場マツさんと朝日町芝沼ツネさんから出征中の夫の安否をたづねられ、また元郷町飯島ヨ

榮養普通が一番
心强い乳幼兒の体質

石城醫師會では乳幼兒保護指導法に基き過般行つた昨年四月以降出生の市內乳幼兒五百二十一名の健診の結果を纏めた、これによると既報の如く疾病などもごく少數で『先づ概して良好』の折紙に母親達の育兒上の心細振りがうかゞはれるが体質はやはり男がまさつてゐる

△榮養

	男	女
良	七二	四七
普通	一七一	一四六
不良	八二	一〇二

△体重

標準以上	八〇	七四
九割以上	九二	八四
九割以下	一五三	一三七

中の作
漁港改修陳情
三縣議出縣

江名町中ノ作漁港改修は地元の重要な問題として對策

自粛米無しデー
平飲食店組合で月三回實行

平飲食店組合では新生活体制下節米を一層徹底させるため今後毎月八、十八、二十八の三日間を『自粛米無しデー』として代用食をすゝめることゝなり來る十八日から實施する

慰問袋寄託
平第二小學校六ノ二生徒一同で慰問袋三個をつくり市役所へ寄託した

官名詐稱の前科男
出獄後再び邪道へ

平署では十日北海道河東郡日スッカリ守宿部長になり香更村下香更强盜盜前科十すまして訪問一假出獄係で犯三塚朝治(四九)を檢擧し水戸へ犯人護送の歸途だが同人は宮城刑務所に服役中息子ざんを來年の徴兵檢査同房の湯本町八仙佐藤カネ明まで出してやるから四、だも及ばぬ程です、殊に蠅五十圓出せ』と迫り宿料二や蚊等の居ることは內地で最近出獄するや同人の名を使ひカネさん宛『近く刑務所の看守部長が行くから』と偽手紙を出した上今月三

仲田町の野菜屋事件
昨公判で再鑑定

市內仲田町野菜商佐藤唯一(四七)に係る傷害致死事件の

井上氏法要
十四日公會堂で

故井上市消防組頭の第三回忌法要は既報の如く來る十四日午後二時から市公會堂日本間に於て一般燒香、三時から法式を行ふが時局柄一切の供物を受けず且つ酒食も供せぬとの事である

白土氏寫眞指導　平警防團焦務部長白土喜伯氏は今回平署寫眞

お祭りは日曜日
八幡樣愈よ迫る
一層の賑ひ豫想さる

地方の代表的祭典たる飯野八幡例祭は愈よ兩三日の日曜に迫り、市內各家庭では時節柄酒盛り三味の計劃は無くも市外各方面の親戚知己に恒例の案內狀を發するやら小豆を買ひ整へやら簡素乍ら祭りの仕度をはじめた模樣であるが、恰も良し當日は日曜に相當し、土曜日の宵宮からかけて參詣人は殊の外多かるべく、而も今や聖戰四年、南京、漢口重慶と三段躍びに遷した敵都が更に四川省を通か西に西康省康定に移轉を傳へられてゐるなど、國民の戰時意識が益々昂揚されてゐる折柄、武神に對する皇軍の武運長久祈願に來る例祭の大賑ひは蓋し既定の事實と觀られてゐる

井上氏法要
十四日公會堂で

故井上市消防組頭の第三回忌法要は既報の如く來る十四日午後二時から市公會堂日本間に於て一般燒香、三時から法式を行ふが時局柄一切の供物を受けず且つ酒食も供せぬとの事である

白土氏寫眞指導　平警防團焦務部長白土喜伯氏は今回平署寫眞

公判は昨十日平支部に於て菅間裁判長係り立川檢事關與、安齊、松野尾兩辯護士列席開廷清水、鈴木(喜)兩醫師の證人喚問あり、日を更めて再鑑定する事になつた、次回公判廿四日

お城山に床し「鶯谷」
今に殘る名禽の囀りに好事家入手を焦る

雲白く遊子かなしむ。とり合つて愛禽家を垂涎せしめてゐるが其の數二十羽內外と覗られ、よく磐女前の名禽が居らがなかなか捕れない。とその道通の話である

繪葉書で前線慰問　磐崎村郷軍分會、青年團、國婦小學校の銃後各團体では映畫會で資金を造成『二千六百年の初日の出』外村の催の繪葉書(七枚一組)を作製陳情をした

銃劍術
郷軍武術第二日

戰時下郷軍の意氣をこゝに

西部青年團優勝者
豫選に出場者決定

市西部青年團体育大會は昨十日午前九時より第二小學校庭に於て開催入賞者中より左記選手を詮衡の上來る廿九日平商校庭に於て開催さるゝ縣下大會の市豫選會(期日未定)に出場競を競ふ事となつた

劍道　柏木侃一(三段)
(材木町)長瀨泰輔(二段)
(同)

銃劍術　(松田誠)(紺屋町)
相撲　(松田誠)(同)
重量運搬機走　吉田清治(鍛冶町)大谷一元(古鍛冶)
二千米團体競走　山崎佐輔(古鍛冶)戸松茂一(鍛冶町)補大谷一元(古鍛冶)
走幅跳　鈴木仁(才槌小

伊藤氏指輪獻納
市內一丁目伊藤興行部伊藤一氏は巡業先からダイヤ入り白金指輪一個價値八百五十圓を市銃後奉公會へ寄附

贈高木君復任渡邊村長
珠玉　小野務平

昨暮沙場十萬兵今勞治里濟民情裏創拮据無導日一片丹心答聖明

平市慶弔錄

△出生　下平臨字寺內一四江尻忠平氏長女祥子さん

拈華微笑

城山附近奥さん連の土つぼり、汗の体驗と實質的飾米と異に一石二鳥

□稀有の反響と共鳴を捲き起した矢部氏の話。講演はすべて斯うあり度い

□平城址にゆかし『鶯谷』唯物史觀一點張りでなくこの方面への關心も望ましい

□健啖の秋、運動シーズン混食代用食の跳躍を奬勵せよ

□餘りの好天氣で忘れてゐたがけふが二百二十日たつた

十二日

【小名浜測候所觀測】

	潮前	潮後
干潮	三、〇〇	七、二五
干潮	八、〇〇	

▲一白　金運なる發展を望むとき

舊八月十一日　木曜
新九月十二日　戊午　赤口　收　角宿

自粛米無しデー
平飲食店組合では新生活体制下節米を一層徹底させるため今後毎月八、十八、二十八の三日間を『自粛米無しデー』として代用食をすゝめることゝなり來る十八日から實施する

飲食組合で月三回實行

慰問袋寄託
平第二小學校六ノ二生徒一同で慰問袋三個をつくり市役所へ寄託した

官名詐稱の前科男
出獄後再び邪道へ

平署では十日北海道河東郡日スッカリ守宿部長になり香更村下香更强盜盜前科十すまして訪問一假出獄係で犯三塚朝治(四九)を檢擧し水戸へ犯人護送の歸途だが同人は宮城刑務所に服役中息子ざんを來年の徴兵檢査同房の湯本町八仙佐藤カネ明まで出してやるから四、だも及ばぬ程です、殊に蠅五十圓出せ』と迫り宿料二や蚊等の居ることは內地で最近出獄するや同人の名を使ひカネさん宛『近く刑務所の看守部長が行くから』と偽手紙を出した上今月三

仲田町の野菜屋事件
昨公判で再鑑定

市內仲田町野菜商佐藤唯一(四七)に係る傷害致死事件の

井上氏法要
十四日公會堂で

故井上市消防組頭の第三回忌法要は既報の如く來る十四日午後二時から市公會堂日本間に於て一般燒香、三時から法式を行ふが時局柄一切の供物を受けず且つ酒食も供せぬとの事である

白土氏寫眞指導　平警防團焦務部長白土喜伯氏は今回平署寫眞

お祭りは日曜日
八幡樣愈よ迫る
一層の賑ひ豫想さる

地方の代表的祭典たる飯野八幡例祭は愈よ兩三日の日曜に迫り、市內各家庭では時節柄酒盛り三味の計劃は無くも市外各方面の親戚知己に恒例の案內狀を發するやら小豆を買ひ整へやら簡素乍ら祭りの仕度をはじめた模樣であるが、恰も良し當日は日曜に相當し、土曜日の宵宮からかけて參詣人は殊の外多かるべく、而も今や聖戰四年、南京、漢口重慶と三段躍びに遷した敵都が更に四川省を通か西に西康省康定に移轉を傳へられてゐるなど、國民の戰時意識が益々昂揚されてゐる折柄、武神に對する皇軍の武運長久祈願に來る例祭の大賑ひは蓋し既定の事實と觀られてゐる

伊藤氏指輪獻納
市內一丁目伊藤興行部伊藤一氏は巡業先からダイヤ入り白金指輪一個價値八百五十圓を市銃後奉公會へ寄附

贈高木君復任渡邊村長
珠玉　小野務平

昨暮沙場十萬兵今勞治里濟民情裏創拮据無導日一片丹心答聖明

平市慶弔錄

△出生　下平臨字寺內一四江尻忠平氏長女祥子さん

拈華微笑

城山附近奥さん連の土つぼり、汗の体驗と實質的飾米と異に一石二鳥

□稀有の反響と共鳴を捲き起した矢部氏の話。講演はすべて斯うあり度い

□平城址にゆかし『鶯谷』唯物史觀一點張りでなくこの方面への關心も望ましい

□健啖の秋、運動シーズン混食代用食の跳躍を奬勵せよ

□餘りの好天氣で忘れてゐたがけふが二百二十日たつた

十二日

【小名浜測候所觀測】

	潮前	潮後
干潮	三、〇〇	七、二五
干潮	八、〇〇	

▲一白　金運なる發展を望むとき

舊八月十一日　木曜
新九月十二日　戊午　赤口　收　角宿

▲二黑　監護の日にして何事にも容也但し口舌注意▲三碧　奇利は無くともじん常に働けば相當ののびあり▲四綠　人の力を借らず熱心に己が分限を以て勵め▲五黃　とぼしきも一時のこと働けば大に裕なるべし▲六白　飲食と逆退となつゝしみ中を守りかたよらざるが吉▲七赤　抗すれば抗するほど逆逆に見舞はるべき日▲八白　實力を以て偽ろこは卒て感謝すべし▲二黑　監護の日にして何事にも容也但し口舌注意▲三碧　奇利は無くともじん常に働けば相當ののびあり▲四綠　人の力を借らず熱心に己が分限を以て勵め▲五黃　とぼしきも一時のこと働けば大に裕なるべし▲六白　飲食と逆退となつゝしみ中を守りかたよらざるが吉▲七赤　抗すれば抗するほど逆逆に見舞はるべき日▲八白　實力を以て偽ろこ

とは謹事と見へてもとほる▲九紫　目前の小利にあせらず永遠の志を立るに吉し

天氣豫報
小名浜測候所觀測
今晩　南東の風曇
明日　次第に悪し　南の風曇時雨模樣

内臟外科
整形外科
レントゲン科
松村外科
醫學博士松村亨
平市町南　松村醫院外科部

實用案新
特許第一八七四三〇
意匠登錄
第六六一六七號
石山式
石綿ムシカマド
こんな經濟的な『かまど』は他にありません
安價な燃料で濟み、保溫力が强く堅牢で火の元絶對安全！、御使用に御便利な！石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、たゝめ致したい新製品で御座います。
平市五丁目
和洋銅物金物問屋　釜屋商店

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけてたくだけで洗へる
㊙マルミ粉末石鹼
製造元　平市材木町二一

メガネ專門の店
メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい……
玉屋　平市本町二丁目